

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム  
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書①

所属学部・研究科	医学部/研究科 1年次	
留学先大学	トムスク国立教育大学 (国名:ロシア)	
プログラム名称	トムスク春季語学研修	
プログラム期間	平成29年2月20日～	平成29年3月12日

### 1. 渡航について

出国年月日	平成29年2月17日
経路	羽田—仁川—ハバロフスク—ノボシビルスク
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	平成29年3月14日
経路	トムスク—モスクワ (ドモジェドボ) —サンクトペテルブルク— (観光) —モスクワ (ブスコボ) — (観光) —モスクワ (シェレメチェボ) —北京—羽田

### 2. 所要経費について

所要経費	総額	230,000	円	
	内訳	渡航費	110,000	円
		大学登録費	20,000	円
		食費	50,000	円
		観光費	50,000	円
		費		円

### 3. 参加プログラムに関する感想

まずロシア語の授業についてだが、二ヶ月間オンライン学習でやっていたこともあり、授業のレベルには十分ついていけたし、なんなら少し物足りなかった。全くの初心者にとっては、教科書一冊分を終わらせるので、ついていけない人もいたかもしれないが、修了テストは先生が補助してくれるので、問題ない。他にもロシアの文化についてのプレゼンがあったが、それは、トムスク市内を観光するのに重宝した内容ばかりだった。

上とは別の、課外活動で、オリエンテーション、バーニャ、博物館に行ったりしたが、どれも新鮮で面白かった。特にマースレニツァはトムスクをあげての祭りであるし、今回の研修もそれを体験するために組まれているので行くのが必須と言ってもいい。寮生活についてだが、基本的には一部屋二人か三人。それを含む大部屋に、浴室、トイレ、洗濯機がある。有線LAN 差込口が一つしかないため、有線LAN—無線LAN コンバータがあると共用できる。普段の食事は店が寮の周りにあるのでそこでとった。私の行きつけだった MIP はタジキスタン料理の店だったが、そこはメニューも豊富だし、たらふく食べられるし、何より安いのでオススメ。皆が口を揃えて野菜が不足すると言っていて、青汁を持っていくよう勧められたが、私はサラダを頼んで野菜不足を解消していた。現地の大学生との交流で、同じ大学で日本語を勉強している大学生との交流がある。しかし、人によっては日本語をほとんど知らないという学生もいるので、多少のコミュニケーションによる不満は我慢すべし。他にも BBC というところから派遣され大学生との交流があるが、こちらの方が交流の輪を増やせるかもしれないし、実際私はそうだった。

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム  
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書②

所属学部・研究科	文学部 2 年次			
留学先大学	トムスク国立教育大学 (国名:ロシア)			
プログラム名称	トムスク春季プログラム			
プログラム期間	平成 29年 2月 20日～	平成 29年 3月 11日		
<b>1. 渡航について</b>				
出国年月日	平成 29年 2月 17日			
経路	広島→羽田→仁川→ハバロフスク(ロシア)→ノボシビルスク			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 無			
帰国年月日	平成 29年 3月 13日			
経路	ノボシビルスク→北京→大連→広島			
<b>2. 所要経費について</b>				
所要経費	総額		約 19 万 0000 円	
	内訳	渡航費	飛行機代+寮・空港間バス代)	約 12 万 1000 円
		研修費		約 2 万円 (1 万ルーブル)
		食費	(ロシア内)	約 8,600 円 (約 4,300 ルーブル)
		ビザ申請費		5,400 円
		その他雑費		
<b>3. 参加プログラムに関する感想</b>				
<p>外国語学習および海外の文化、異文化交流への興味が今回このプログラムに参加した動機である。渡航前はロシアに対してあまり良いイメージを持っていなかったが、実際に行ってみると、周りの人は温かくて親切、交通機関も使いやすい、思っていたよりも過ごしやすいところであった。</p>				
<p>・体験できたこと</p> <p>マースリニツァ (ロシアの春の祭り)、バーニャ (サウナ) スキー、スケート、音楽鑑賞 (コンサート)、犬ぞり、人形作り・マトリョーシカへの絵付け、ロシア料理とダンス体験</p> <p>授業の一環として体験できるものもあれば、休日などを利用して個人的に体験できるものもある。音楽や劇、バレエの鑑賞は、事前に日程を教えてもらった。ここでしか体験できないものもあるので、積極的に様々な催しに参加すると良いと思う。コンサートは 300 ルーブル～700 ルーブル (約 600 円～1400 円程) で、日本と比べるとかなり安い。やりたいことがあれば、現地の日本人の先生や、交流するロシア人学生に言うと、連れて行ってくれたり、手助けしてくれたりしてもらえた。</p>				
<p>・ロシア語学習・授業に関して</p> <p>授業は主に英語で行われたが、英語がわからなくても十分についていけると思う。授業中はよく教科書の単語を先生から当てられて発音する。ロシア語はアクセントが重要なので、授業中は集中して先生の発音を聞いて教科書に書き込んだり、メモしたりして復習することが大切である。私はロシア語は全く初めてであった。キリル文字は読めるようにして行ったが、もっとスムーズに読めるようなレベルまで練習していけば良かったと感じた。宿題は少なめで、復習は自分でしっかりやる必要を感じた。</p>				
<p>・寮生活に関して</p>				

私は二人部屋で、トイレ・お風呂は女子7人で共同であった。ロシアはトイレに紙を流すことができないので、気をつけなければいけない。寮はホテルではないので、清掃等は自分で行う。洗濯機も自由に使うことができたが、特に風呂や洗濯機を使う際には、周囲に声かけするなどしてうまくやっていく必要がある。

食事は近くのコンビニやスーパーで買うか、食堂を利用することになる。近くにはタジキスタン料理店や、ピザ屋、ピロシキ屋もあり、様々な料理を楽しむことができた。食材を買って、寮で自炊することもできる。

ネット環境は一部屋に有線ケーブルの差し込みが一つであり、さらに繋がりにくい時もあった。可能であれば、Wi-Fiを持っていか、SIMカードを買って携帯を海外でも使えるようにするなど対策を取ると良いのかもしれない。

#### ・プレゼン発表について

習った範囲の文法で、自分で原稿が作れる程度の簡単なもので良い。私は最初に設定したテーマではそれが行えず、途中で変更することになった。また、ロシア人の学生に、原稿を見てもらって、直してもらう人もいたかもしれないが、多少不自然でも簡単な単語を使うように頼むと発表しやすい。

#### ・持って行ったものに関して

渡航期間中は日中が0度から-2度程度で、きちんとコートを着ていればそれほど寒くはなかったが、川沿いや夜、バスや電車を待っている時は寒いので、防寒対策は必要である。建物の中や、バス、電車の中は暖かくて過ごしやすい。

\*ホッカイロ…全く使用しなかった。ほとんど必要ないと思う。

\*タイツ…今回の渡航期間が暖かかったのもあり、あまり使用しなかったが、防寒対策としては必要なものである。

\*物干しハンガー…洗濯物を室内に干す際に必要。現地で買うこともできる。

\*部屋履き（クロックス）…寮の部屋で使用するのであったほうが良い。

自分はセーターなど割と厚手のものばかり持って行ったが、室内が暖かいことと、スーツケースがかさばるため、もっと薄手の服も持って行けばよかった。石鹸やタオルは現地でも買える。パソコンが mac の人は有線ケーブルのアダプター（サンダーボルト）を忘れないように気をつけてください。

空港では着陸後一旦機内から出て、移動する必要があるため、始めからコートやマフラーなどを持っておかないといけない。

#### ・その他

渡航前に、トムスク教育大学の日本人の先生とうまく情報の共有ができておらず、トラブルがあり迷惑をかけてしまった。自分たちで、飛行機のチケットを取ることになると思うが、向こうに夜に到着する便を選んではいけない。

現地では、トムスク教育大学で日本語を学んでいる学生と交流する機会があった。先生に言えば、彼らが受けている日本語の授業を見ることができる。私はその授業見学に一度しか行かなかったのも、もっと行けばよかったと感じた。多くの学生と仲良くなることのできるし、海外における日本語教育を見ることができるのはとても良い機会だと思った。

私は VISA カードも持っていたため、5万円換金した。スーパーやコンビニ、レストランではカードが使えるが、バスや路面電車、食堂など現金でしか支払い出来ないところもある。

最後に、今回の渡航にあたって、現地の先生方や、国際交流グループの方々、一緒に参加した研修のメンバーに大変お世話になりました。多くの貴重な体験ができ、良い渡航になったと感じています。ありがとうございました。

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム  
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書③

所属学部・研究科	総合科学部 1年次
留学先大学	トムスク国立教育大学 (国名: ロシア )
プログラム名称	HUSA ショートプログラム
プログラム期間	平成29年 2 月 20日～ 平成29年 3 月 11日

### 1. 渡航について

出国年月日	平成 29 年 2 月 17 日
経路	羽田→仁川→ハバロフスク→ノボシビルスク
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者)・その他 <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	平成 29 年 3 月 14 日
経路	トムスク→モスクワ→北京→羽田

### 2. 所要経費について

所要経費	総額		約20万円	
	内訳	渡航費	観光での移動含む	約12万円
		研修費		約2万円 (1万ルーブル)
		食費		約2万円
		お土産代		約1万円
		雑費		約3万円

### 3. 参加プログラムに関する感想

ロシアの人や文化や建物に興味があり、最も行きたいと思っていた国だったので、この研修に参加しました。研修では、ロシア語の学習はもちろんのこと旅行ではできないたくさんの体験ができ、とてもよかったです。現地の学生や日本人の先生、大学の関係の方々には本当にたくさんお世話になり、おかげで充実した3週間を過ごすことができました。

#### ・事前準備について

トムスク教育大学の日本人の先生方や事務の方とは事前に連絡をとって必要なこと(空港からの送迎、ビザの期間等)は確認しておくことが大切だと感じました。広大からの情報とあちらの大学の方々の認識とが食い違っていることもあります。さらに、このトムスク研修と一緒に参加するお茶の水女子大の参加者ともなるべく早くから連絡を取り合えたらよかったですと思いました。また、現地のネット環境はあまり良くないので携帯をSIMフリーにしていって、Wi-Fiを借りていくと便利です。

#### ・授業について

先生はロシア人で説明は英語なので、ロシア語を大学で1年学んでいない自分にとっては文法の理解が難しかったです。事前に勉強してあらかじめ理解してから授業を受けたらより吸収できてよかったですと思います。

#### ・せっかくなので観光も

トムスクでの研修を終え、サンクトペテルブルクとモスクワを観光しました。それぞれ半日ずつの短い旅でしたが、空港から街の中心へ移動してしまえば主な観光地や建造物は密集しているので徒歩で回ることができました。空港や地下鉄の構内で向こうから話しかけてくる人たちには注意が必要ですが、現地の人々はわからないことを尋ねると親切に教えてくれました。血の上の救世主教会やクレムリンは中も外も見ごたえたっぷりで、街並みや夜景がとても美しかったです。

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム  
協定大学実施ショートプログラム 参加報告書④

所属学部・研究科	教育学 学部(研究科)	年次 M1	
留学先大学	トムスク国立教育大学 (国名: ロシア)		
プログラム名称	HUSA 春季ショートプログラム		
プログラム期間	平成29年2月17日～	平成29年3月12日	
<b>1. 渡航について</b>			
出国年月日	平成29年2月17日		
経路	成田→北京→ノボシビルスク→トムスク		
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 ) ・その他 <input type="checkbox"/> 無		
帰国年月日	平成 29 年 3 月 14 日		
経路	トムスク→サンクトペテルブルク→モスクア→上海		
<b>2. 所要経費について</b>			
所要 経 費	総額	17万 円	
	内訳	交通費	10万 円
		食費	2万 円
		娯楽費	2万 円
		雑費	1万 円
		お土産代	2万 円
<b>3. 参加プログラムに関する感想</b>			
このプログラムに参加し、絶対行く価値があるとほかの学生におすすめと思う。			
メインとして、ほぼ毎日ロシア語の授業があった。授業は英語とロシア語で行われたが、両方の練習ともなれると思う。ロシア語の勉強についてであるが、私には勉強した経験はまったくないであったが、事前の予習はとても重要だと感じていた。			
ロシアの文化体験については、人形を作ったり、バーニャに行ったり、コンサートなどを楽しんだりして、充実した生活を過ごすことができた。日本人の先生や、ロシア人の友達にいろいろなところに連れてもらって、とても楽し			
中国人である私は、日本とロシアと中国の生活の違いに驚異しながら、異文化交流を楽しんでいた。			
正式なプログラムとして、2回のティーパーティーが用意されている。その場で、ロシア人の学生たちとたくさんの交流ができ、パートナーもできた。トムスクでの娯楽や、最終日のプレゼンするのに、そのパートナーたちにすごく手伝いしてもらった。ロシア人の友達と連絡先を交換して、帰国後にも連絡を取っている。この出会いにすごく感謝して、一期一会の気持ちがいっぱい。			
プログラム中、日本人の高田先生、松本先生、ロシア人の先生たちに、本当にいろいろお世話になっていて、心より感謝している。今回のプログラムに参加することで、ロシア語の勉強やロシア文化の体験だけではなく、渡航準備や外国人との人間関係作りやプレゼンの仕方など、たくさんの勉強ができた。どちらも、とても貴重な経験である。			